

研究課題：全結腸無神経節症術後の電解質管理についての研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2001年1月1日から2017年3月31日までに、名古屋大学医学部附属病院小児外科およびあいち小児保健医療総合センター小児外科において診療された全結腸無神経節症の方。

2. 研究目的・方法・研究期間

Hirschsprung病は、消化管の動きを制御する神経節細胞が、生まれつき無いために重い便秘症や腸閉塞をとなる疾患です。このうち、大腸すべて以上の長さの腸管に神経節細胞が見られないタイプを全結腸無神経節症（本症）と呼び、Hirschsprung病のうち最も重症なタイプです。

Hirschsprung病は無神経節腸管の長さによって術後経過が大きく異なる疾患で、とくに本症の場合、根治術後は大腸をすべて切除されることとなるので、脱水、電解質異常に陥るリスクが高くなります。

本症の術後管理について、電解質の管理は非常に重要で、今後の治療の際の方針決定の一助とするため、これまで本症で外来受診している方のデータを後方視的に調査して評価します。

研究期間は実施承認日～2022年3月31日の予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象患者について、手術時年齢、性別、手術所見、血液検査所見、画像検査所見、臨床経過等を収集し、とくに電解質管理について外来で容易に評価できる指標を探索するべく検討します。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

1 研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院小児がん治療センター・講師・住田 亙

2 研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学・教授・内田広夫、同・准教授・田中裕次郎、名古屋大学医学部附属病院小児外科・講師・田井中貴久、同・助教・城田千代栄、同・医員・横田一樹、同・医員・大島一夫、医員・白月

遼、同・医員・千馬耕亮、名古屋大学附属病院小児がん治療センター・講師・
檜頭成

3 共同研究者（所属・職名・氏名）

あいち小児保健医療総合センター・小児外科医長・小野靖之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

また、一度同意されたのちに同意を撤回する場合についても、診療上の不利益を被ることはありません。ただし、学会発表、論文出版の後には除外できません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 小児外科学

(052) 741-2111 (代表)

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院小児がん治療センター・講師・住田 亙